

仕様

- ●初期表示は「今月」のカレンダーが表示されます。
- ●「次の月」をクリックすると、次の月のカレンダーが表示されます。(順に、次の月へ、次の月へ・・・)
- ●「前の月」をクリックすると、前の月のカレンダーが表示されます。(順に、前の月へ、前の月へ・・・)
- ●「今月」をクリックすると、今月のカレンダーが表示されます。

ヒント: PHPのDateTimeクラスを使いましょう。

https://www.php.net/manual/ja/book.datetime.php

現在の日付を取得するには、DateTimeクラスのインスタンスを作ります。

\$date = new DateTime();

「\$date」の中には、現在時刻の「DateTimeクラス」のオブジェクトが入っています。 「yyyy/mm/dd」の形式で出力するには

echo \$date->format('Y/m/d'); とします。

DateTimeクラスのインスタンスを作るときに、「日付形式」の文字列を引数に指定すると、その日時でインスタンスを作ることができます。「2019年8月1日」の日付にしたいときは、

\$date = new DateTime('2018/08/01');

とします。

\$weekDay = \$date->format('w');

とすれば、「ついたち」が何曜日かも分かります。

ヒント:日付のフォーマット

こちらのページを参照してください。 https://www.php.net/manual/ja/function.date.php

```
例)

$date = new DateTime();

//年

echo $date->format('Y');

//月

echo $date->format('m');

//日

echo $date->format('d');

//日付形式

echo $date->format('Y/m/d');

//当日の曜日(0(日曜)から6(土曜))

echo $date->format('w');
```

日付の計算

```
// 2019年8月1日のDateTimeオブジェクトを作成します。
delta = new DateTime('2019/08/01'):
//2019年8月1日のDateTimeオブジェクトに1か月足します。
// 引数にはDateIntervalオブジェクトを指定します。
$date->add(new DateInterval('P1M')):
//2019年9月1日と表示されます。Date Time オブジェクトの日付は<math>2019年9月1日になっています。
echo $date->format('Y/m/d'):
//2019年9月1日になったDateTimeオブジェクトから1か月引きます。
// 引数にはDateIntervalオブジェクトを指定します。
$date->sub(new DateInterval('P1M'));
//2019年9月1日と表示されます。DateTimeオブジェクトの日付は2019年9月1日に戻っています。
echo $date->format('Y/m/d'):
```

DateIntervalクラス

https://www.php.net/manual/ja/class.dateinterval.php

DateIntervalクラスは、日時の期間を作成するクラスで、インスタンスを作るとき、引数に「期間」を示す文字列をいれます。

「期間の文字列」は必ず「P」から始まり、

1か月=> 'P1M' 1日=> 'P1D'

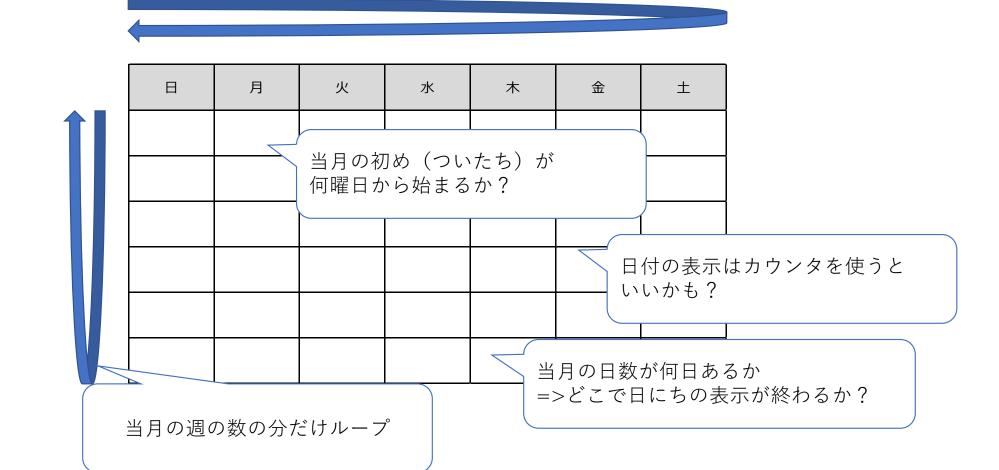
と指定します。

// 1か月の期間のDateIntervalオブジェクト \$interval = new DateInterval('P1M');

// 1日の期間のDateIntervalオブジェクト \$interval = new DateInterval('P1D');

カレンダーの考え方 (1)

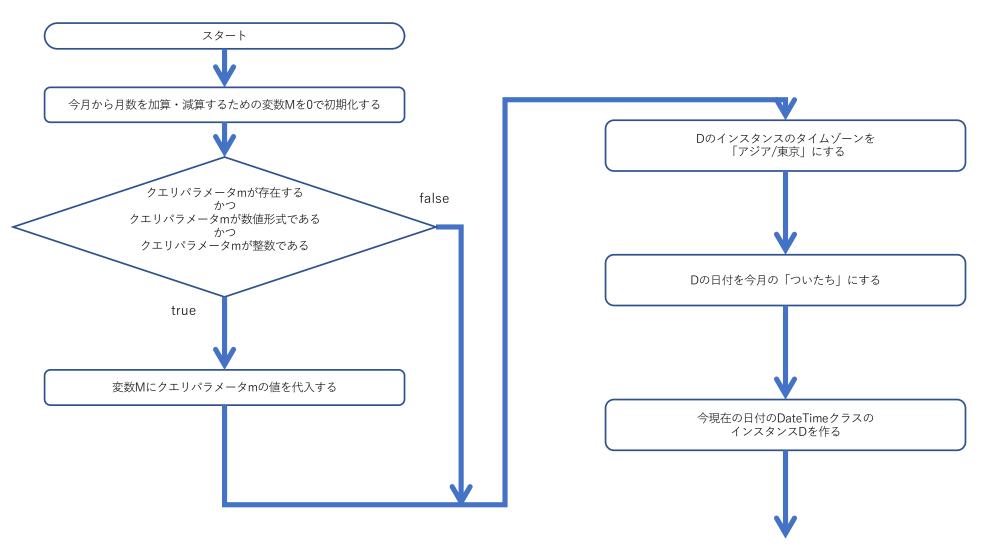
1週間=7日分ループ



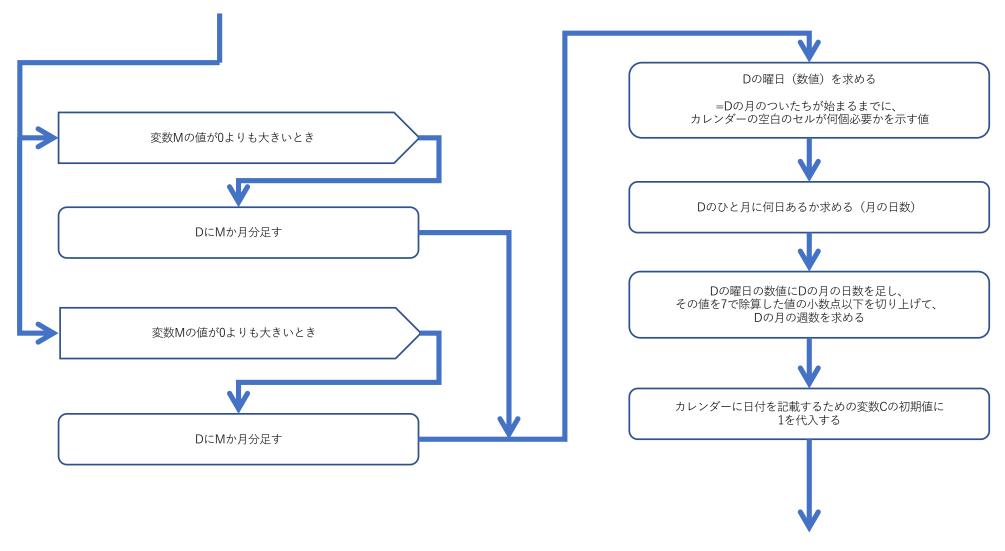
カレンダーの考え方(2) 2 \Box 月 火 水 木 金 土 0 1 2 3 4 5 6 0 2 1 3 < 4 5

- ① 当月にある週分繰り返し
- ② 一週間 (7日分) 繰り返し

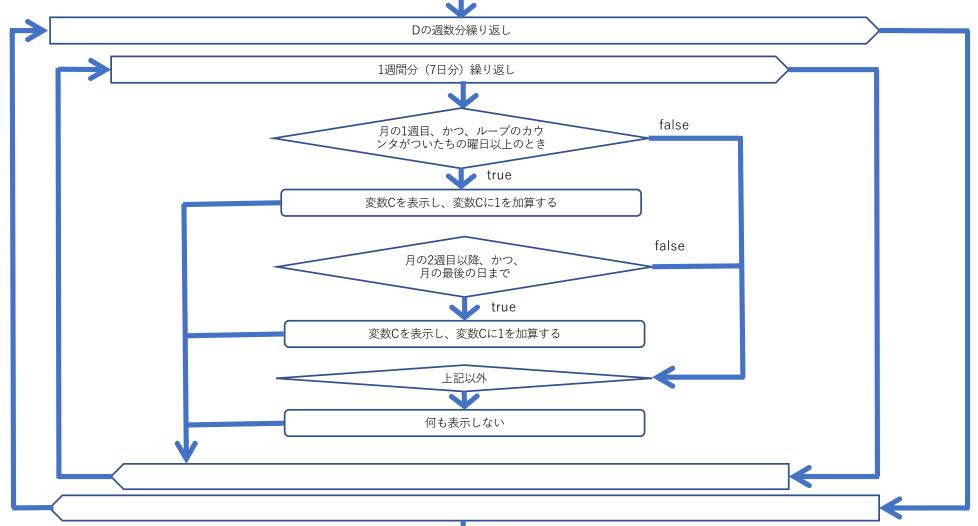
カレンダーの考え方 (4) 処理のフロー (1)



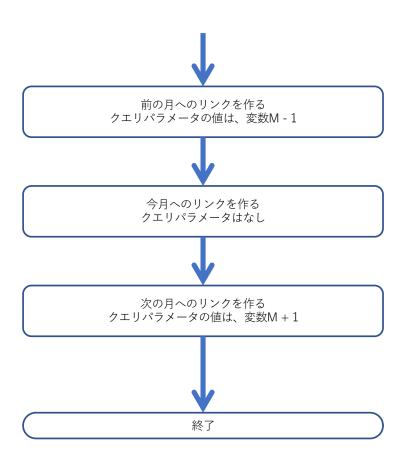
カレンダーの考え方 (4) 処理のフロー (2)



カレンダーの考え方 (4) 処理のフロー (3)



カレンダーの考え方 (4) 処理のフロー (4)



表示がおかしいときは、ブラウザに表示されているHTMLのソースを見てみましょう。

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html lang="jp">
4 <head>
     <meta charset="UTF-8">
     <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
     <meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="ie=edge">
     <title>カレンダー</title>
     <link rel="stylesheet" href="./css/normalize.css">
     <link rel="stylesheet" href="./css/main.css">
11 </head>
12
13 <body>
     <div class="container">
15
        <h1>カレンダー</h1>
16
17
18
           <caption>2020年1月</caption>
20
              日
21
22
              月
23
              火
              7/k
24
              木
25
              金
26
              <th>\pm
27
           28
           <!-- 当月にある週数分繰り返し -->
29
                 <!-- 一週間の日数分(7日分)繰り返し -->
32
                                    33
                                          34
                                    35
                                          37
38
                                    39
                       1
                                          2
                                          43
                       3
                                          44
45
                                    47
                 <!-- 一週間の日数分(7日分)繰り返し -->
```

クエリストリング (クエリパラメータ)

http://localhost/calendar/?month=1

?month=1

の部分のことを「クエリストリング」とか「クエリパラメータ」と言います。

\$_GETというグローバル変数でクエリストリングの値を取得します。

echo \$_GET['month']; //「1」と表示される

変数が定義されているかどうか調べるには **isset**() を使います。 https://www.php.net/manual/ja/function.isset.php

Math関数

小数点切り捨て→ ceil()

https://www.php.net/manual/ja/function.ceil.php

小数点切り上げ→ floor()

https://www.php.net/manual/ja/function.floor.php

四捨五入→ round()

https://www.php.net/manual/ja/function.round.php